

フランスの未来を作る女性たち、 日本へのメッセージ

フランスの女性…、日本の女性。

永澤 亜季子



ヨーロッパでは70年代の混沌とした世界情勢の中で思春期を過ごし、平和と人権の保護、教育制度の充実と持続可能な経済の発展をめざすEUの理念、「ヨーロッパ・ドリーム」に惹かれた多くの女性が、欧州問題専門の政治家や学者として活躍しています。EUは近年の経済危機で得た教訓をもとに、今後10年にわたって加盟国間の経済・財政の強い一体性と信頼関係、ヨーロッパ市民の保護に基づいた、一つの「国家」として大きく変わろうとしています。連載第4回目は、欧州議員としてEUの経済・雇用問題に20年以上取り組み、現在EUのトップレベルで審議されている新しい経済ガバナンスの中心的存在、ペルヴェンシュ・ベレスさんにお話を伺いました。



第4回 EU・欧州経済

揺るがない ヨーロッパ・ドリームへの信念

語り手：ペルヴェンシュ・ベレス

聞き手：永澤亜季子

20年前、どのように事故のショックを乗り越えられましたか。

「レジリエンス^{*1}」です。人生でぶつかる至難は本当の自分を見出し、限界を超えるきっかけだと思っています。ですから私は事故後、事故で受けた障害を乗り越えるために全ての能力とエネルギーをかけて仕事に打ち込みました。

思春期のころ経験した国際情勢から、社会主義と国際政治に尽くそうと心に決めていたので、事故後回復が難しかった時も夢をあきらめようと思ったことはありません。

人生でつらい出来事があった時、それが残りの人生で障害となり続けるかどうかは周りの人間ではなく本人が決めることです。本人が、そうした出来事は乗り越えられると信じて努力をしていれば、周りの人間も支えてくれるようになります。

確かに1999年の欧州議員選挙の際には、事故で顔が歪んだ私が候補者名簿でNo.2になることについて党指導部でためらった者もいましたが、人の見かけより重要な事柄が欧州で問題となっていることに、幸い気づいたようです(笑)。

男女平等はEUの基本原則の一つですが、EUにおけるダイバーシティについて教えてください。

欧州議会では女性議員の数は全議員の37%です。

フランスでは2000年のパリテ法^{*2}以降、比例代表制の選挙でクオータ制^{*3}が義務づけられ、ダイバーシティは憲法上の原則となっています。現在フランス欧州議員のうち女性は46%、ほぼ半数です。

EUでは取締役会の4割を女性とすることを加盟国の大企業に義務づける指令がここ数年整備されてきましたが、EU理事会のいくつかの加盟国閣僚の反対で、現在保留となっています。

多くの女性が企業の取締役となることは、世界経済危機の原因となった投機的でリスクの多い経営管理から、理性的な経営管理に変わるために有益ですので、取締役会のダイバーシティはコーポレートガバナンスの重要な課題です。

キャリアを高める中、女性として直面した問題はありましたか。

私が政治家としてキャリアを高めたのは、ちょうどフランスで女性幹部の登用が重視されていた時期で、ミッテラン大統領が多くの女性を閣僚に起用していました。

社会党はパリテ法前にクオータ制を最も早く導入しており、94年の欧州議員選挙ではミシェル・ロカールが男女候補者を交互

に名簿に載せることを決めていましたので、女性であることは私が欧州議員選挙の候補者に選ばれる上でむしろメリットでした。

女性がキャリア上直面する問題の一つは家族生活との両立ですが、私は男性に依存する生活を想像したことがなかったので、子供を産んでも自分のキャリアを築くのが当然でした。

もちろん働く母親がみな経験するように、育児も完璧にしたいと思い、職場で罪悪感を抱くことはありましたが、息子たちにとっては、家事に専念して不満を抱えた母親を見ながら育つよりも、仕事に励んで生きがいを感じている母親を見ながら育つて良かったと思っています。

2人とも特に問題なく成長し、一緒に暮らすパートナーのキャリアをとても尊重する男性になりました。社会における女性の地位を理解する上で、私が一つの見本になったのではないのでしょうか。

今日のユーロ経済低迷の原因は何ですか。

EUの経済統合が不完全だったことです。それまでEUでは加盟国がそれぞれ自国の経済・財政政策を決めており、EUとして一つの政策を決めたり、それを加盟国に強制することはなく、ユーロ圏では単に財政バランスを取る義務が各国に課されているだ



Madame Pervenche BERÈS

ペルヴェンシュ・ベレス

政治家、欧州議会議員

— profile

ヌイイ市のインテリの家庭に育つ。パリの書籍商ピエール・ベレスの娘。思春期にベトナム戦争やチリクーデター等波乱含みの国際時勢を経験し、パリ政治学院で政治を専攻。卒業後国民議会に勤務、社会党に入党。当時国民議会議長だったローラン・ファビウスに補佐官として抜擢され、党内で昇進する。

1994年欧州議会議員選挙に当選しキャリアを飛躍させるが、翌年パリ市内をスクーターで移動中、赤信号を無視した覆面バトカーにはねられ、3日間昏睡。数週間味覚、嗅覚、声を失う大ケガを負ってしまう。手術を数回重ねても顔がもとに戻らない中、政治家としての信念を捨てず、事故から3カ月後に党会議に赴き「事故にあったからといって脇役になる理由はない」と演説した。

その後20年間、欧州問題への深い造詣と猛烈な仕事力で欧州議員、欧州問題専門家としてトップの座を確立。1997年フランス社会党代表部長、2004年経済金融委員会委員長、2009年雇用社会問題委員会委員長として、サブプライム危機以降不安定な欧州経済と失業問題、ギリシャ危機の解決に取り組む。現在EUの新しい経済ガバナンスとユーロ圏の財政統合を推進。26歳と28歳になる2人の息子の母。

けでした。

近年の世界経済危機とそれに続くギリシャ危機、欧州債務危機^{※4}を通じ、一つの通貨を導入して加盟国が独自の経済政策を決める「経済通貨同盟^{※5}」の問題が明らかになりました。財政管理がずさんで赤字を続ける国や、自国の経済だけ保護して財政黒字を続けようとする国があると、ユーロ圏全体の経済が不安定になるからです^{※6}。

そのためEUでは2011年以降、各国の経済政策を協調させ、監視を強める多くの措置が導入されましたが、問題を根本的に解消して将来同様の経済危機にさらされないためには、経済通貨同盟を完全なものにすることが必要です。

現在進められているEU経済システムの改革について教えてください。

たくさんありますが、例えば現在ユーロ圏ではそれぞれの国が賃金制度を定めており、いくつかの国の賃金制度の問題がユーロ圏の国々の間で経済格差を広げるものとなっています。これを解消するために、各国にその国の経済状況と賃金レベルを監視する独立の機関を置き、その報告に基づいてEUが経済格差をなくすための政策を決めるシステムが予定されています。

また例えば、欧州債務危機では加盟国の債務が民間銀行、そして銀行に預金をしている私たち市民に深刻な影響を与えることが明らかになりました。近年EUでは、各国の銀行がリスクの高い取引をしないよう、欧州中央銀行^{※7}が監視する制度を導入しましたが、現在、加盟国の民間銀行が倒産した際にEU市民の預金を保護する共通保険

制度の整備が進められています。

フランスでは先回の欧州議員選挙で極右が躍進し、ドイツでも反EU政党が議席を伸ばしています。イギリスもEU離脱の可能性があります。こうした中、現在目指されているような統合の強化を進めることは可能ですか。

最近のポピュリズム（大衆迎合）政党の勢力拡大で、EU統合の強化が難しくなっているのは確かですが、だからといって改革を遅らせるのは妥当ではありません。

加盟国でポピュリズムが支持を集めている背景には、これまでEUが不完全な経済通貨同盟を放置しておいたため、世界金融危機に対応できなかったことがあります。ですから市民が期待するような経済発展が将来EUで実現するためには、経済システムの不備を補完し、完全なものにすることが不可欠です。

イギリスは外交や防衛の点でEUにとって重要な国なので、予定されている国民投票でユーロ懐疑論^{※8}が勝利してEUから離脱することになれば、ギリシャのユーロ離脱よりもずっと深刻な打撃があるでしょう。

EUは全ての点でキャメロン首相に妥協すべきではありませんが、交渉が成功してイギリスがEUに残ることは、EUを完全なものにするためにとても重要です。

最後に、好きな音楽を教えてください。

ジャンス・ジョプリンの「Mercedes Benz」が好きです。



永澤亜季子

弁護士

クラレ・リーガル(CLARÉ LEGAL)総合法律事務所。著書「フランス暮らしと仕事の法律ガイド」(顕草書房)

※1 レジリエンス (Résilience) : 人の精神的強さ、困難に対する抵抗力、またはそうした強さや抵抗力をつけるものとなる出来事。

※2 パリテ法: 2000年6月6日の公職就任における男女平等に関する法律。この法律の成立以降、男女が平等に公職、職業的・社会的責任のある地位に就くことを法律で助成する「アフーマティブ・アクション」がフランス憲法の原則となっている(第1条)。

※3 クォータ制: 男女同数を義務づける制度。

※4 欧州債務(ソブリン)危機: ギリシャの財政問題に端を発するユーロ圏、欧州全般の債務危機のこと。

機のこと。

※5 経済通貨同盟: 共通の通貨が導入されている国々。EU内ではユーロを導入した国々。

※6 ユーロ圏ではギリシャのような財政赤字国とドイツのような財政黒字国の格差が経済のバランスを崩していることが問題となっている。

※7 欧州中央銀行: ユーロ圏の通貨政策を担当する銀行。2014年11月より各国の主要な銀行を監督する任務が与えられている。

※8 ユーロ懐疑論: 欧州連合やその政策、ユーロの導入などヨーロッパの統合過程に反対する意見。